

2019年度 事業計画

高齢者の就業機会開拓と会員の活躍

1. 基本方針

我が国経済は、2012年11月から緩やかな回復基調が続き、雇用や所得水準が徐々に改善をしているところですが、米中経済摩擦などの海外情勢の不確実性による輸出や生産の弱さも見られるところです。

景気回復の長期化により、雇用環境の改善が正規の雇用にも及び、正規雇用者数は2015年以降増加に転じています。雇用者数の動きを男女別、年齢別で見ると、男性雇用者数は主に65歳以上の雇用者が大きく増加、これは団塊の世代を中心とした高齢者層が定年後も働き続けていることなどが要因と考えられます。

生産年齢人口が減少する中、働き方改革政策の展開により高齢者や女性の労働参加を促し経済成長を維持することも、今後の重要政策として期待する処です。

ちなみに我が国の65歳以上の高齢者人口は、2030年度には3,685万人総人口比31.6%に達し、白井市においても高齢者人口は一貫して増加し続け、2030年には高齢化比率が29.7%、1万8千人になると予測されていますが、今後は高齢者人口の維持・微減から高齢者人口の減少へ進行するとされ、人手不足の中、高齢者の労働力が重要な役割を担っていくと思われれます。

当センターの平成31年3月末現在会員数は466名（内女性会員は89名）、会員平均年齢は73.1歳です。総会員数・女性会員数の伸び悩みが続いております。

平成30年度事業実績見込みも1億9千万円程度、28年度からの漸減にやっとな歯止めがかかった状況です。

当センターを取り巻く環境の変化に的確に対応した計画的な事業運営を図るため「第5次基本計画」（2019年度～2021年度）を策定し、その初年度となることから、計画に掲げた各種施策を着実に推進して参ります。

私たち高年齢者が生涯現役で働き、社会の支えとして活躍し貢献することがシルバー人材センターに課せられた任務であり、特に会員の健康状態に十分配慮しつつ、引き続き多様な働き方に応じた就業機会の開拓を図るとともに、地域社会のニーズに対応できる公益社団法人としての組織と経営基盤の強化等の諸課題解決に向けて、会員・役職員が一体となり、「高齢者の就業機会開拓と会員の活躍」するセンターをめざし白井市全域の方々からご支援いただける事業運営に努めてまいります。

皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

2. 目標

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大
2. 就業機会の拡大
3. 安全就業の推進
4. 財政基盤の強化 — リスク管理

3. 事業実施計画

期間3か年の第5次基本計画初年度にあたり、以下の事業項目を実行する。

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

- 1) 高齢者に相応しい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所及び官公庁等から有償で引き受け、これを高齢者である会員に請負又は委任の形式により提供する従来からの受託・請負事業を展開する。
- 2) 普及啓発活動の強化
 - ①白井市発行「広報しろい」紙面にセンター事業実施状況を都度掲載し、市民の理解と信頼を獲得する。
 - ②会報「シルバーしろい」を年2回発行し、会員の意識啓発高揚を図るとともに、外部への配布により当センターの活動を宣伝する。
 - ③ホームページの更新により、お仕事情報など最新の情報を発信する。
 - ④「シルバー人材センターの普及啓発強化月間（10月）」に協調した活動により、市民へのシルバー人材センター活動の啓発を図る。
 - ⑤市商工会の「ふるさとまつり」に加えて地域の各種催事にも参加し、センター事業活動内容の普及、PRを実施する。
 - ⑥地域班の活動強化策として、地域密着活動の支援を拡大する。
- 3) 会員の増強
 - ①会員募集説明会、入会説明会を定例的に開催し、会員の増強を図る。
 - ②特に、地域社会への浸透を図るため、女性会員の増強を図る。
 - ③職群班活動を活性化し、「友呼び運動」を展開する。
- 4) 各種講習会の実施
 - ①梨栽培講習会、植木剪定講習会、草刈機取扱講習会、初級パソコン講習会、襖・障子張替講習会、網戸張替講習会、水まわり補修講習会、刃物研ぎ講習会、家事援助講習会（お掃除講座）、家事援助講習会（介護講座）、縫製講習会等の高齢市民の就業機会拡大サポートのため、及び高齢市民の社会参加の場として役立つセンター主催の各種講習会を開催する。
 - ②講習受講後アンケート及び講習受講6ヵ月後アンケート調査を実施し、講習内容に反映させる。
 - ③白井市及び千葉県シルバー人材センター連合会と協調して、市民参加を促す新たな講習会を開催する。

2. 就業機会の拡大

- 1) 安定かつ継続的就業先確保のため、労働者派遣事業（シルバー派遣）を強化する。
- 2) 新たに、地域に密着した事業として、草取りグループ「ガーデンメイト」を立ち上げる。
- 3) 適切な就業機会を提供するため、会員の意識調査を適宜実施する。
- 4) 就業分野の開拓・拡大
 - ①市役所関連、工業団地企業、団地管理組合及び一般家庭別に的を絞り、当センターの活動内容の理解を求め、就業の機会を拡大する。
 - ②専任の就業開拓員を任命し、シルバー人材センター事業内容の普及宣伝を図るとともに、新規就業先の開拓に努める。

3. 安全就業の推進

- 1) 作業中の事故及び就業途上の交通事故ゼロ化を徹底する。
- 2) 安全管理部員による巡回パトロールを実施する。
- 3) 安全講習会・マナー講習会を開催し就業に必要な基本事項を徹底する。
- 4) 健康管理の徹底
 - ①入会時及び就業開始時を含め、随時会員の健康状況確認を徹底する。
 - ②会員の健康管理意識向上に役立つ情報を会員へ積極的に提供する。
 - ③健康管理に有益な、専門家による講習会等を随時開催する。

2019・2020年安全標語

～ 思いやる ゆとりと感謝で 安全就業 ～

4. 財政基盤の強化 ― リスク管理

- 1) 独自事業の推進
 - ①女性会員中心の手工芸班を増強し、小間物作成販売等を拡大する。
 - ②他センター事例を参考に新たな独自事業参入を検討する。
- 2) 遵法主義の徹底
 - ①公益社団法人に関する法令・規則・ルールを絶えず明確化するとともに周知を図り、会員及び役職員一体となって、日頃の就業及び業務において遵法主義を徹底する。
 - ②特にセンター参入可能業務分野が拡大される中、「適正就業」ガイドライン厳守をあらためてセンター全体で確認し徹底する。

4. 年度目標

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

目標会員数 474名 内女性会員数 98名

2. 就業機会の拡大

就業率の目標（請負） 90%以上

3. 安全就業の推進

事故ゼロを目指す

4. 財政基盤の強化

受注金額 1億94百万円

5. 組織の運営

1. 会員及び役職員一体となり、遵法主義重視かつ開かれた組織運営を実行する。

2. 会議等の開催

- | | |
|-------------------|--|
| 1) 定時総会 | 2019年6月15日（土） |
| 2) 理事会 | 年6回以上 |
| 3) 運営推進会議 | 年6回以上 三役、部会長及び推進委員 |
| 4) 健康・安全部会 | 健康・安全事項担当 |
| ・安全パトロール | 年間安全パトロール計画による |
| ・安全就業ルールの説明会 | 会員入会説明会併催（毎月） |
| ・マナー講習会の開催 | 年1回以上 |
| 5) 事業・適正就業部会 | 就業先開拓、会員増強、適正就業事項担当 |
| ・会員募集説明会 | 毎月下旬（市役所ウェルふらっと内団体活動室）
隔月中旬（富士センター） |
| 6) 広報部会 | 広報事項担当 |
| ・会報年2回発行 | 1月、8月 |
| 7) 総務部会 | 総務事項担当 |
| 8) 職群班長会議 | |
| 9) 理事及び監事候補者推薦委員会 | |
| 10) その他必要な会議・PT | |
| 11) 会員入会説明会 | 毎月上旬（センター会議室） |
| 12) 就業相談会 | 毎月第3月曜日（センター会議室） |

以上